

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		尿路生殖器病態生理学		上原 慎也
開講年次	共通/専攻/選択		単位数	
1~4	必須専攻		20	(藤井 智浩)
目的				
泌尿器科学の病態生理を理解して、独創性の高い研究を遂行できる能力を習得する。				
授業到達目標				
(1) 泌尿器科学における解剖・生理を詳細に説明できる。 (2) 泌尿器科学における病態を詳細に説明できる。 (3) 研究仮説・研究計画を立て、研究を遂行することができる。 (4) 得られた研究結果を統計学的に解析することができる。 (5) 得られた研究結果を解釈し、データを整理することができる。 (6) 演題発表および論文発表により研究成果まとめることができる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	10:00 - 17:00	大平 伸	(1) 研究仮説から研究計画を立案する方法について指導を行う。 (2) 研究ミーティングにより定期的に研究遂行に関する助言を行う。
毎週	月	16:00 - 17:00	平田 啓太	(1) 動物実験および生化学的検査の手法について指導を行う。 (2) 研究結果の解釈およびデータ整理に関する助言を行う。
第1週	水	17:00 - 18:00	上原 慎也	(1) 泌尿器感染症の基礎的知識および最新知見に対する指導を行う。 (2) 研究全般に対する指導・監督を行う。
第2週	月	17:00 - 18:00	藤井 智浩	(1) 尿路結石症の基礎的知識および最新知見に対する指導を行う。 (2) 演題発表、論文作成に関する指導を行う。
第3週	水	16:00 - 17:00	原 綾英	(1) 男性不妊症の基礎的知識および最新知見に対する指導を行う。 (2) 論文作成に関する指導を行う。
第4週	水	15:00 - 16:00	堀川 雄平	(1) 泌尿器解剖生理の基礎的知識および最新知見に対する指導を行う。 (2) 抄録作成に関する指導を行う。
毎週	金	17:00 - 18:00	森中 啓文	(1) 動物実験および免疫学的検査の手法について指導を行う。 (2) 研究結果の解釈およびデータ整理に関する助言を行う。
毎週	金	16:00 - 17:00	清水 真次朗	(1) 泌尿器悪性腫瘍・排尿障害の基礎的知識および最新知見に対する指導を行う。 (2) 統計解析に関する指導を行う。
毎週	水	14:00 - 15:00	杉山 星哲	(1) 動物実験および生化学的検査の手法について指導を行う。 (2) 研究結果の解釈およびデータ整理に関する助言を行う。
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。 [受講期間：1年次に受講。※2017年度以前の入学生は1~4年次で受講] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
(1) 1週間ごとに研究ミーティングを行い、研究遂行に関する指導・助言を行う。 (2) 研究結果の解釈およびデータ整理に関する指導・助言を行う。 (3) 中間発表における抄録作成および演題発表に関する指導・助言を行う。 (4) 研究成果の学会発表および論文発表に関する指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9784524250370, ベッドサイド泌尿器科学 (改訂第4版), 吉田修 (監修), 南江堂, 2013 ISBN-9781455775675, キャンベル泌尿器学 (改訂第11版), A.J.Wein, et al., Elsevier, 2016				
参考書				
ISBN-9784758103541, <実験医学増刊> 細胞死, 田中正人, 中野裕康, 羊土社, 2016 ISBN-9784758103428, <実験医学増刊> 炎症, 松島綱治, 羊土社, 2014 ISBN-9784758101790, 改訂タンパク質実験ハンドブック, 竹縄忠臣, 伊藤俊樹, 羊土社, 2011				

準備学習（予習・復習等）
<ul style="list-style-type: none"> （1）実験前に教科書・参考書等を読み，約1時間程度の予習を行う。 （2）実験後にデータを記録し，結果の解釈およびデータ整理を行う。 （3）毎週履修手帳に実験計画・内容・結果を簡潔に記載する。
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
<ul style="list-style-type: none"> （1）課題を探究し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習得する。 （2）卓越した研究成果をあげ，尿路生殖器病態生理学の深い学識を獲得する。 （3）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につける。
注意事項・メッセージ
<p>尿路生殖器病態生理学における独創性の高い研究成果が得られるように頑張ってください。</p>